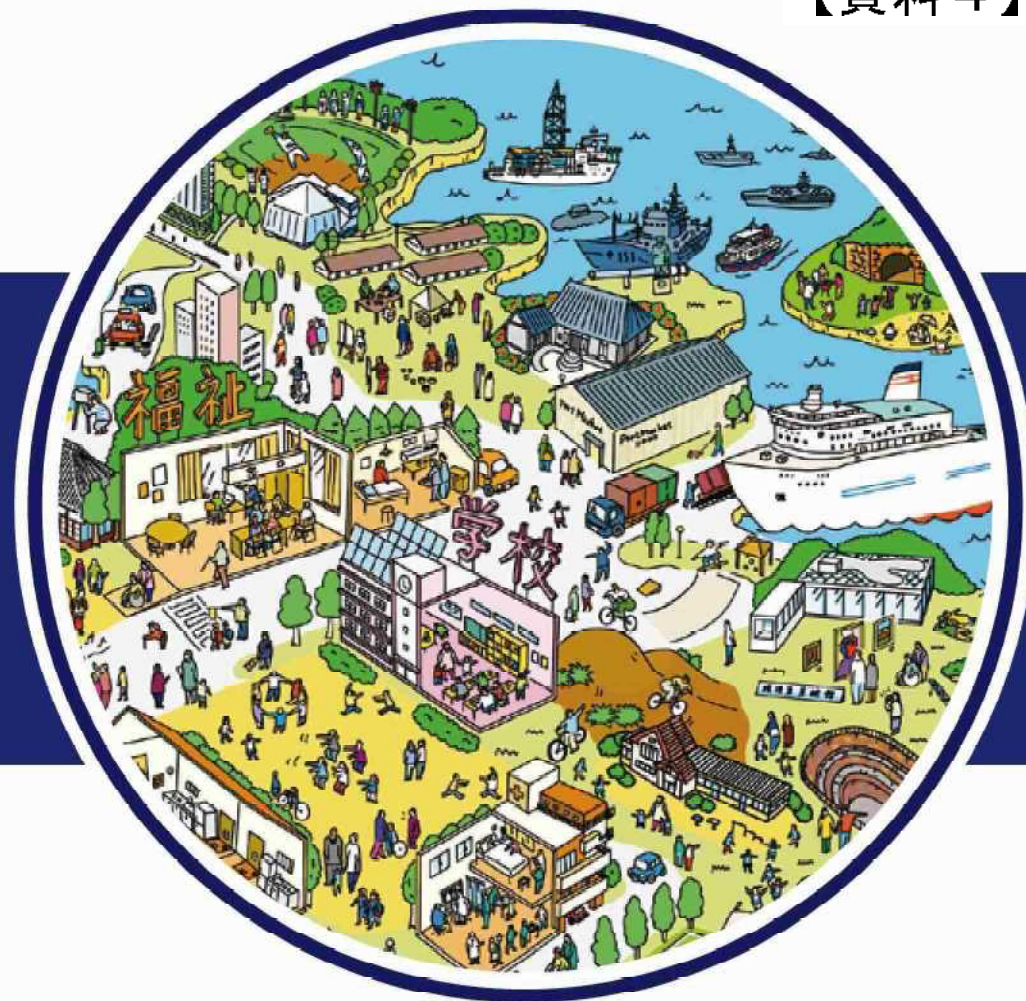


令和6年度(2024年度)

予算の概要

(抜粋版)

変化を力に進むまち。
YOKOSUKA



I 予算編成の基本的な考え方

コロナ禍の間にも、横須賀市は「海洋都市」「音楽・スポーツ・エンターテインメント都市」「個性ある地域コミュニティのある都市」の3つのまちづくりのグランドデザインを掲げ、市政を着実に前に進めてきました。特に昨年からは、可能な限り社会を動かし、確実にまいてきた種が芽を出し、花を咲かせるようになりました。

ただ、行政の最大の役割は市民生活を守ることと、福祉の充実です。行政の最大の目的は住民福祉の増進であり、最終的にはすべての施策が、「誰も一人にさせないまち」への推進力として、さらなる昇華ができるよう取り組んでいます。

今後も、3つのまちづくりのグランドデザインに沿い、あらゆる分野で、施策の種をまき育てることで、新たな風を巻き起こし、人と物を呼び込み、経済の循環を図っていきますが、令和6年度からは、福祉へと舵を向け、その果実を、より重点的に、福祉に振り向けていきます。

令和6年度予算では、まずは、しっかりと防災対策の強化に着手するとともに、多くの福祉の分野で、様々な種を、様々な土壌にまくことができたと考えています。改めて行政の役割は何なのか、それをもう一度、原点に立ち返り、体現する予算とするべく、編成をしました。

4

歴史や文化、スポーツを生かしたにぎわいの再興

総合戦略 基本目標 4

関係人口の創出や定住を促す魅力的な都市環境をつくる

音楽・スポーツ・エンターテインメントを生かした様々なコンテンツを融合させ、さらなる集客や市内消費の促進を目指します。



- 1 ルートミュージアムのさらなる強化
- 2 周遊と消費の促進
- 3 音楽やダンス、エンターテインメントによるにぎわいの創出
- 4 スポーツによるにぎわいの創出

1. ルートミュージアムのさらなる強化

01 ティボディエ邸の活用

拡充

6,605 千円

文化スポーツ観光部
文化振興課

すべてのシーズンでヴェルニー公園内のイベントと連携するなど、ルートミュージアムの起点となるティボディエ邸の認知度向上と来館契機創出に取り組みます。



(拡)ティボディエ邸周辺でのイベント等との連携

イベントなど	春	夏	秋	冬
ヴェルニー公園内のイベント等との連携	○	○	○	○
市民向けサテライトツアーの開催	○		○	
夏休み親子シアター映像解説教室の実施		○		
クリスマス装飾の実施				○

(拡)園外案内誘導サインの設置

1. ルートミュージアムのさらなる強化

02 観光客の満足度・ 利便性の向上

拡充

20,026 千円

文化スポーツ観光部
観光課

ルートミュージアムの各サテライト間の移動を
より便利で快適にするものや、新たな旅行商品
の造成を支援します。

また、楽しみながらルートミュージアムを体験
するための新たな移動手段の造成を図ります。



令和5年 横須賀市内発着のはとバス周遊ツアー



令和5年 観音崎周辺クルーズツアー

(拡)ルートミュージアム周遊促進事業奨励金

- ・移動そのものを楽しんだり、利便性を向上する施策への支援

補助率 新規事業 1 / 2 上限額 500万円

(拡)継続事業 1 / 3 上限額 500万円

1. ルートミュージアムのさらなる強化

04 美術館の集客力の向上

拡充

115,051 千円

文化スポーツ観光部
美術館運営課

令和5年度補正予算：168,713千円

多くの方がアートに触れ、美術館に親しむ機会を増やすため、より魅力的な展覧会を展開します。

(新)鈴木敏夫とジブリ展

(拡)地域の文化財を活用した運慶展

(拡)箱根エリアの美術館と連携しピカソ
など西洋美術を含めた展覧会

(拡)集客力のある展覧会

- ・サルヴァドール・ダリ展
- ・エドワード・ゴッリー展
- ・驚異の細密表現展



©Studio Ghibli



運慶《毘沙門立像》《不動明王立像》1189年、浄楽寺蔵
横須賀美術館での展示風景

2. 周遊と消費の促進

02 商店街の活性化を支援

拡充

93,707 千円

文化スポーツ観光部
商業振興課

市内各地域の商店街が行う様々な取り組みへの支援、個店の出店や経営多角化の促進を行い、街の活性化につなげます。

(拡)商店街プレミアム商品券事業補助金

補助総額：3,700万円

商店街にぎわいづくり事業補助金

商店街共同施設整備・補修・撤去事業
補助金

空き店舗出店促進事業補助金

店舗オンライン化支援事業 など



3. 音楽やダンス、エンターテインメントによるにぎわいの創出

01 「猿島アートプロジェクト」の実施

拡充

45,000 千円

文化スポーツ観光部
企画課

令和元年から3回開催した夜の猿島を会場としたアートイベント「Sense Island-感覚の島-」を島外にも会場を広げ、リニューアルし2年ぶりに開催します。

(拡)夜の猿島での開催に加え、市内複数
会場で昼間も楽しめるアート作品の
展示や関連イベントを実施



令和4年度「Sense Island-感覚の島-」の様子

3. 音楽やダンス、エンターテインメントによるにぎわいの創出

03 民官連携によるにぎわいの創出

0 千円

※民間資金を活用

文化スポーツ観光部
企画課
観光課

民間事業者による様々な大規模イベントなどの誘致を進め、地域に新たなにぎわいを創出します。

(検討している取り組み)

- ・ポップサーカス（浦賀レンガドック）
- ・オクトーバーフェスト（ヴェルニー公園）
- ・ウィンターマーケット（ヴェルニー公園）
- ・サブカルチャーによるルートミュージアム周遊イベント（市内各所）



ポップサーカス



オクトーバーフェスト



ルートミュージアムの周遊拠点 ティボディ邸

4. スポーツによるにぎわいの創出

01 プロスポーツチーム と連携した取り組み

本市をホームタウンとする横浜DeNAベイスターズや横浜F・マリノスと連携し、トップアスリートを身近に感じることのできる環境づくりを推進するとともに、地域のにぎわい創出を図ります。

- ・横浜DeNAベイスターズオリジナルナンバープレートの導入
- ・ホームタウンチームと地域が連携した集客イベントの実施 など

43,095 千円

文化スポーツ観光部
スポーツ振興課



原動機付自転車のオリジナルナンバープレート
令和6年4月2日交付開始（令和5年12月補正予算）



F・マリノスくりはまカップ



秋季トレーニングふれあいデー